

日吉町自治会だより

# ひよし

第19号

発行 日吉町自治会  
編集 日吉町自治会  
          広報委員会  
印刷 情報印刷(株)  
発行日 平成28年7月

日吉町自治会ホームページ

<http://www.hiyoshicyou.net/>

日吉町自治会 ⇒ 検索

## 日吉町自治会

### 平成二十七年組長総会開催

立春から三日、母の日の五月八日(日)日吉町自治会、組長総会が開催された。司会は横山総務部長が務め、開会前の、総会成立の審査は規約により、組総数が二百四十組、出席、三十三組、委任状百六十四組、欠席四十三組で総会定足数を満たし総会が成立することが告げられた。議長の選出はこれも規約により総務部長を選出、議事録署名人は、自治会役員から、板垣義昭氏、組長代表の石倉堅一が選出された。



挨拶をする片野会長

片野芳昭会長は開会挨拶の中で熊本での地震災害に対し、熊本県の口座に五十万円の義援金を振り込むことを表明した。

第一号議案 平成二十七年事業並びに決算報告。

主な事業は、毎月の定例役員会・防犯パトロールの実施・サロン日吉「なかよし」の開催・日吉神社行事の共催(祭礼・餅つき大会)・新入学児童記念植樹式・新入学児童への祝い品配布・防災訓練の実施・炊き出し訓練の実施・災害用備蓄品の充実・高齢者への記念品の配布・グラウンドゴルフの練習及び大会への参加など、また自治会関係十七団体がそれぞれ活発に活動しています。決算報告は

#### 一般会計決算

収入額 19,278,357円  
支出額 10,213,884円  
繰越額 9,064,743円  
資産管理決算  
収入額 3,977,483円

支出額 2,319,117円  
繰越額 1,658,361円  
第二号議案 会計監査報告  
監査役より適正であったことが報告された。

第三号議案 平成二十八年度事業計画並びに予算案

主な事業計画は、防災関係事業の充実・高齢者への支援・関係団体との相互協力・緑化の推進など、昨年同様もしくはさらに充実させてまいります。

#### 一般会計予算

収入額 20,300,000円  
支出額 12,900,000円  
繰越額 7,400,000円  
資産管理予算

収入額 5,539,000円  
支出額 5,000,000円  
繰越額 539,000円

第四号議案 二十八年度役員次ページに記載

第五号議案 規約改定

副会長及び会計を各一名追加議案はすべて満場一致で可決された。功労者表彰は長年にわたり康楽会の会長を務め、自治会に協力された濱あい子氏に会長より感謝状が贈呈された。

## 平成二十八年度日吉町自治会役員

役職		氏名
会 長	留任	片野 芳昭
副会長・会計	留任	森 正和
副会長・第六地区副地区長	留任	原 照夫
副会長・第二地区長・広報教育文化部長・防犯パトロール隊長	新任	森 茂
会 計	留任	片野 貴士
会 計	留任	池田 妙子
第一地区長・道路交通部長	留任	板垣 義昭
第一地区副地区長	留任	深瀬 富子
第二地区副地区長・リクリエーション担当	留任	橋爪 成子
第三地区長・リクリエーション担当・防犯パトロール副隊長	新任	仲田 慶介
第三地区副地区長・広報教育文化部副部長	新任	佐世 静雄
第四地区長・総務部長	留任	横山 磯港
第四地区副地区長・安全管理部長	新任	石田 太郎
第五地区長・広報教育文化部副部長・防犯パトロール隊長	留任	伊藤 鈴太郎
第五地区副地区長・福利厚生部副部長	留任	竹村 雅男
第六地区長・環境部副部長	留任	渡辺 正義
環境部長	留任	加藤 康廣
福利厚生部長	留任	加藤 君子
総務部副部長	留任	佐世 三佐子
広報教育文化部副部長	留任	高橋 都
顧 問	留任	渡辺 雅弘
顧 問	留任	森 健
会計監査	留任	村田 恒郎
会計監査	留任	鈴木 克己

**急募！ 民生委員・児童委員！！**

会員の高齢化により民生委員・児童委員が不足しています。

ご協力頂ける方は  
各地区長まで、連絡  
をお願いします。

### 横浜日吉歴史散歩（十五）

—地震と減災—  
第五地区 伊藤 鈴太郎

東日本大震災の後に作られた、哀傷歌「花は咲く」を覚えきらないうちに、今度の熊本地震。

「長年住んでいるこの熊本でこんなに大きな地震があるなんて」。沢山の被災者が例外なく語っている。

今回の熊本で発生した活断層地震。メディアの報道によると、あらためて九州中部は特に活断層が集中している地域であることが判る。

専門家の間では、その危険性が早くから指摘されていたという。

今回の地震で気象庁は前震・本震にも触れて、今の科学では正確な地震の予測はできない、人知の及ばない自然現象である。と無念の記者会見をしている。

活断層地震にはその揺れかたに特徴があるという。先ず縦の突き上げやじるし↓横揺れ↓ねじれ。縦の突き上げで強固な建物もダメージをうける。ねじれでとどめ。アパートの一階部分が潰れるのも突き上げが大きな原因と思われる。また、1995年の阪神淡路の地震で神戸の高速道路が横倒

しになって、ショックをうけたが、この横倒しの原因も併せて埼玉大学大学院名誉教授の角田史雄氏が「関東の地震と減災」で明らかにしている。角田氏はまた、「被害地震の80%以上は、住まいのすぐ近くで起こり、内陸の浅い地震である」。つまり直下型の活断層地震。海洋のプレート型地震は主に津波被害だ。

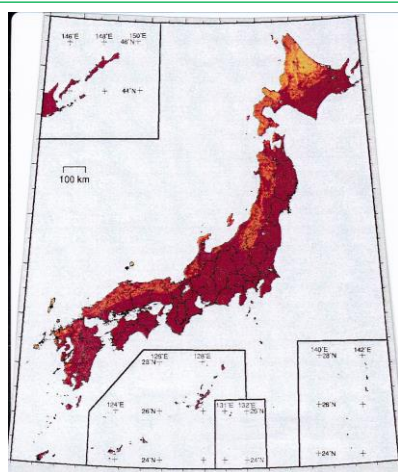
今度の熊本は震源の深さが10kmで浅い。しかし10kmというスケールはけっして半端ではない。その岩盤層がわずか1m動くことで今回のように何万戸の家が破壊される。

「それが自然の営み。人知を超えた力を私たちは目のあたりにしているのだ」(阿蘇火山博物館須藤靖明氏)。自然をコントロールできると夢思うな。地球は誕生以来46億年も内部でマントルが燃え続けている。燃料は何なのだ。

「地震の被害は人間社会と自然現象の相互作用で程度がきまる」(千葉大神里建博氏)。被害の程度は人間界にどれだけ文明が発達し、それに依存しているか、またどれだけ人が集積しているかで決まる。

巨大地震は必ず起きる。明日か、何万年先か。活断層地震は、最大5万年に

一回の活動として、日本全国に2千の活断層があるから、500000÷200=25。震度1〜7の地震が、25年に1回の割合で起きる。



地図は今後三十年間に何らかの地震で震度5以上の地震に見舞われると想定される地図。色が赤に近いほど確率が高い。資料は NEWTON 2016・7

いつも人間に甚大な被害を与える大地震。如何にして被害を減らすか。被害をゼロにすることはできないから、できる限りの減災を心がける。

減災の幾つかを挙げる

○私たちの住んでいる横浜は沖積層低地(沖積層・・・海・川・火山がもたらした土砂の層)なので軟弱地盤。

地震にあまり強くない都市。

○自助：現代社会は「お任せ社会」。

助けを求めれば何とか・・・いやいや、どんな災害でもそうだが、まず自分の身は自分で守るしかない、という心意気で。共助・・・お隣り近所とうまくコミュニケーションが取れていれば、人は案外知らん顔はできないもの。公助：やはり、最も頼りにされて、膨大なそして想定外の事案の処理にあたる。そのためにも担当者は平時より災害のイメージ・シミュレーションのトレーニングを怠らない。

○災害を受けた人々の不幸を思い、地震に強い都市づくりに日々を費やす気持ちや皆で共有する。ボランティア救援も今後はますます必要不可欠な活動行為になろう。

○避難経路・避難場所をもう一度理解しておく。まず、避難用袋は中身は抜かりなくOKか。避難場所へ急ぐ道、ともに歩ける道はまづ無いだろう。広域避難場所・・・関東大震災の教訓から火災

による頓射熱から人を守るためだけの場所。知ってました？・・・指定避難所・・・一時的に避難をして災害の推移を見守る。若干の食糧・水・救助用具等備蓄、公団・学校等を指定。

○連日新聞等で避難場所の問題・課題等が報道されている、貴重な情報

として今後の参考にすべく、資料として保存しておく。(完)  
今回は「・・・歴史散歩」の主旨から外れました。お詫びします。

## 第七回福祉実践活動発表会 光と活力 開催

毎年、日吉地区の代表が活動内容を発表する日吉地区社会福祉協議会が主催する福祉実践活動発表会は、慶應大学日吉キャンパス協生館に於いて開催され、今年で七回目を迎えた。オープニングは日吉台西中学校吹奏楽部による演奏。発表会は、横山港北区長、池田港北区社会福祉協議会事務局長、薄井日吉地区連合町内会長をご来賓に迎え、片野日吉地区社会福祉協議会々長の挨拶に続いて各地区の代表が活動発表を行った。発表者は下田地区・災害時要援護者支援マップのその後の取り組みについて。日吉本町地区・土砂災害、豪雨に備えての調査。箕輪地区・ホームページの総括。日吉宮前地区・ホームページの充実。日吉地区・新入学児童記念植樹式をそれぞれ発表した。



## 新入学児童 記念植樹式

あいにくの雨となった四月十七日(日)日吉公園に於いて第六回新入学児童記念植樹式が開催された。植える木は、例年通り、港北区のシンボル「ハナミズキ」と紅白の花が美しい「ハナモモ」である。残念ながら毎年恒例となったこの行事では初めての雨天となり、当初予定されていた参加者も悪天候のため半数ほどに減少、それでも参加した児童たちは雨具着て、手に手にシャベルを持ち一生懸命に植樹していた。その後、自治会館でお弁当



みんなで一緒に記念写真

を配布した。当初予定していた、港北区のキャラクター、ハナミズキの妖精「ミズキーちゃん」は公会堂で待機、集まってきた子供たちは、ぬり絵をしたり、写真を撮ったりして午後のひと時を楽しんで過ごした。



ミズキーちゃんと遊ぶ子供たち

## 今年も賑やかに 日吉神社節分祭

春の訪れを前に、豆を蒔いて厄を払う毎年恒例の日吉神社節分祭が例年通り賑やかに開催された。今年も丙申(ひのえさる)の年、「福は内、鬼は外」申年生まれの子供、年男、年女が願いを込め

て豆や菓子蒔く。境内では、大勢の老若男女がこれにあやかうと大きな袋を持参して福を集め、賑やかなひと時を過ごした。



賑わう日吉神社境内

日吉神社宵宮祭  
八月二十七日(土)  
例大祭・神輿渡御  
八月二十八日(日)

## 日吉地区 グラウンドゴルフ大会

小雨降る六月五日、第二十二回日吉地区対抗グラウンドゴルフ大会が日吉台中学校、校庭に於いて開催された。各町会からの参加は

二十四チーム、日吉町自治会からは四チームが参加、あいにくの空模様ではあったが気温は上々、動きやすい温度の中、四チームともに大健闘、我らが日吉町自治会は団体戦で準優勝の栄誉に輝いた。



プレーを楽しむメンバー

## 編集後記

東日本大震災から五年、九州熊本で大地震が発生した。津波こそ無かったが多くの家屋が倒壊し大勢の死傷者が出た。今回の「横浜日吉歴史散歩」は日吉の歴史とは大きく外れたが、関東でも近い将来必ず発生する大地震に備えて警鐘を発している。